

サルモネラ・チフムリウム LT2 由来の $\alpha(2-3)$ ニュラミニダーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1276

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ノイラミニダーゼ酵素は、ノイラミン酸のグリコシド結合を切断するグリコシド加水分解酵素 (EC 3.2.1.18) です。ノイラミニダーゼ酵素は、さまざまな生物に見られる大きなファミリーです。最もよく知られているノイラミニダーゼはウイルス性ノイラミニダーゼで、インフルエンザ感染の抑制を防ぐための抑制ターゲットです。ウイルス性ノイラミニダーゼは、インフルエンザウイルスの表面に見られる抗原決定因子として頻繁に使用されます。インフルエンザノイラミニダーゼのいくつかの異体は、他のものよりもウイルスに結合してより病原性を与えます。他のホモログは哺乳類細胞に見られ、さまざまな機能を持っています。

別名 神細胞アミダーゼ; シアリダーゼ; α -神細胞アミダーゼ; アセチル神細胞アミダーゼ; エキソ- α -シアリダーゼ; EC 3.2.1.18; 9001-67-6

製品情報

種	サルモネラ・チフムリウム LT2
由来	E. coli
形態	50 mM NaCl、20 mM Tris-HCl (pH 7.5 25°C)、および5 mM Na ₂ EDTA。
分子量	41 kDa
活性	~11,300,000 ユニット/mg
濃度	50,000 ユニット/ml
単位定義	1ユニットは、1 nmolのNeu5Ac α 2-3Gal β 1-3GlcNAc β 1-3Gal β 1-4Glc-7-amino-4-methylcoumarin (AMC)から α Neu5Acの> 95%を切断するのに必要な酵素の量として定義され、37°Cで1時間、合計反応体積10 μ lで行われます。

保管・発送情報

保存方法 4°Cで保管するか、-20°Cで小分けにして保管してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。